

第十四回 衆議院精神病者監護法案審查特別委員會速記錄 (第一號)

(一一八)

明治三十三年二月十五日(木曜)午後零時二十四分開議

○委員長(齋藤壽雄君) 開會致シマスドウデスカ、本案御提出ノ大體ニ付
イテ説明ガアリマスレバ、御質問ヲスルノニ大變便利デゴザイマスガ……

○内務省參事官(窪田靜太郎君) 本案ヲ提出ニナリマシタノハ、詰リ精神病
者ニ對シテノ身體ノ保護ヲ主ト致シマシテ規定ヲ致シマシタ、ソレハ民法デ
ハ財産上ノコトニ付イテノ保護ハ、後見人ヲ以テ保護スル規定ガ設カテ居
リマス、然ルニ身體ニ付イテノ法ハ僅ニ一條ゴザイマスダケデ、其規定ヲ補
充シテ行政上ノ取締ヲ付ケマスルダケノモノハゴザイマス、ソレデ從來ハ
此精神病者ニ關シマシテハ、中央ニハ別段ナ規定ハ其他ニゴザイマセズ、地
方デハ多クハ精神病者ヲ檻置スル場合ニハ、地方長官ノ許可ヲ受ケサシ、地
方デ府縣令ヲ出シテ居ル次第デゴザイマス、併ナガラ孰レモ簡短ナモノデゴ
ザイマシテ、詳細ナ取締手續マデハ付イテ居リマセヌ、ソレデ其點ヲ本案デ設
ケマスル筈ナノデゴザイマス、本案ノ主トシテ規定致シマスル所ハ、ソレ故精
神病者ヲ檻置スルト云フ場合ニ付テハ、如何ナル手續ヲ經レバ檻置スルコト
ガ出來ルカ、又不必要ナル者ヲ檻置シテ居ッタ場合ニハ行政廳ハ如何ナルコ
トヲナシ得ルカ、又此法ニ背イテ檻置シタトカ、或ハ詐欺ノ手段ヲ用井タト
カ云フヤウナコトニ付キマシテノ罰則ヲ設ケマシタノデゴザイマス、大體ハ詰
リソレダケノ規定デゴザイマス

○(丸山嵯峨一郎君) 第一條ノ方カラ質問ヲ致シマス、此第一條ニハ精神病
者ヲ監護スル義務アル者、及其監護義務者數人アル場合ニ於テ、其義務ヲ履
行スベキ者ノ順位ヲ規定シテアル、例ヘバ自分ノ住所ヲ離レ或ハ他國ニ於テ
此病ニ罹ル者ガアルト假ニシタナラバ、其時分ニハ是等監護者ノ義務ハ茲ニ
規定シテ居ルヤウデアリマスガ、行政上監護ノ必要アリトシタナラバ、ヤハ
リ其邊ノ規定モナケレバナラヌモノダラウト思フ、其邊ノ御考ハドウ云フノ
デスカ

○内務省參事官(窪田靜太郎君) 左様ナ場合ニハ監護義務者ガ其力ヲ履行ス
ルコトガ出來ナイ場合デゴザイマス、其場合ニハ住所又ハ所在地ノ市區町
村長デ監護ヲ致シテ參ルヤウニ、六條ニ規定シテ居リマス積リデゴザイマス、
即チ其義務ヲ履行スル能ハザル事由ガアルト云フ場合ハ、ソレ等ヲ見テ居リ
マス

○(麻生太吉君) チョット御尋致シマスガ、第二條ノ趣意ハ即チ監護義務者
ニアラザレバ、精神病者ヲ監置スルコトハ出來ナイト云フコトノ明記デゴザ
イマス、之レガ若シ精神病ノ發シタ者ヲ、此明文外ノ監護義務者デナクシテ、
他ニ逃ゲ出スカ何カシタ時ニ、其場合ニハドウシマスデスカ、其時ニ非常ニ
差支ノコトガ出來ハシマセヌカ

○内務省參事官(窪田靜太郎君) 其場合ニハヤハリ此普通ノ人ニハ手ヲ著ケ
サセナイ積リデアリマス、ソレハ此八條ニ依リマシテ監護義務者ガアリマス
レバ、ソレヲ指定シテ檻置ヲ命ジマスガ、急迫ノ事情ガアル場合唯今御述ベ
ノヤウナ場合デ、監護義務者ガドウ致サウト思フモ仕方ガアリマセヌ、其場
合ニハ、即チ行政廳ニ於キマシテ假ニ精神病者ヲ檻置致シマス、其檻置ノ期間
ハ五日間ト致シテ置キマシタガ、貴族院デ七日ニ修正ニナリマシタノデ、ソ
レダケノ手續キヲシテ置キマシタ、其間ニ監護義務者ガ出テ來レバ宜シイガ、
出テ來ナケレバ其住所又ハ所在地ノ市區町村長ニ引渡シテ、ソコデ監護ヲ
シテ參ルト云フノデ、六條ニ戻ッテ參ル積リデアリマス

○(麻生太吉君) 尙ホ御尋致シマスガ、若シ監護義務者ガ居ラナイ場合ハ、
町村長ガ之ニ代ッテ即チ八條ニ依テ檻置スルト云フコトデスカ、町村長ガ
居ラナイ何時何處デドシナコトヲスルカ分ラナイ、忌疑ヲナストカ人ヲ切ル
トカ、マルデ仕方ガナイ場合ガアル、サウ云フ時ハ町村長ニ屆ケルマデノコ
トモ出來ナイ、檻置ト云フヲ限ラレタト云フコトニナッタナラバ、其保護ヲス
ルト云フ時ガ、困ッタコトニハナリハシマセヌカ

○内務省參事官(窪田靜太郎君) ソレハ其檻置ト申シマス云フト、先ヅ平
ラタク申セバ座敷牢ニ入レルトカ、一家ノ内カラ外ヘ出サナイトカ云フヤウ
ナコトデアリマスネ、ソレデ今俄ニソコニ精神病者ガ暴レテ居ルト、ソレヲホ
ウツテ置ケバ精神病者ガ自ラ傷ケルカ、若クハ他人ヲ傷ケルト云フヤウナ場合
デゴザイマスレバ、ソレヲ一時取靜メテサウシテ最寄ノ警察ニ引渡スト云フ
コトダケノコトヲ致スノハ、檻置ト云フ内ニハ這入ラナイ積リデアリマス、
ソレダケノコトハ正當防衛トシテモ出來マス

○(麻生太吉君) ソレデハ檻置ノ意味デヤアリマセヌナ
○内務省參事官(窪田靜太郎君) サウデスカ檻置ノ意味デヤナイ積リデアリマ
ス

○(麻生太吉君) 分リマシタ
○(丸山嵯峨一郎君) 尙第一條ニ付キマシテ貴族院ノ修正ガ「但監護義務者
相互ノ同意ヲ以テ順位ヲ變更スルコトヲ得」ト修正ニナッテ居リマスガ、之レ
ハ果シテ政府ノ方デモ同意シテ居ルカドウデアルカ、ソレデ一體精神病者ト
雖モ、人權ノ上ニ於テハヤハリ保護スル必要ガアルノデ、ソレデアリマスガ
ラシテ斯様ナ規定ト云フモノハ、最も嚴重ニシテ法律上動スベカラサル義務
ヲ負ハセマシタ方ガ、却テ保護ノ目的ヲ達スルコトガ出來ララウト思ヒマ
ス、然ルニコ、ニ順位ハ第一後見人第二配偶者云々ト規定ヲ置キナガラ、サ
ウシテ唯其相互ノ同意ヲ得タナラバ順位ヲ自由ニ變更スルコトガ出來ルト云
フコトニシテハ、甚ダ規定ノ——法律上ノ精神ニ悖ッテ居ル所ノ修正デ私ハ

アラウト思フノデ、殊ニ又相互ノ同意云々ト云フコトニ規定スルコト云フコトハ、法律上嚴格ナリトスルノ精神ニ悖ルミナラズ、非常ノ弊害ヲ生ズルコト、思ヒマス、其邊ノ所ハドウ云フ御考デアリマスカ

○内務省參事官(窪田靜太郎君) 此修正ハ貴族院ノ委員會デ段々攻究ノ結果、斯ウ云フコトニナリマシタノデアリマスガ、政府ハ寧ろ原案ヨリカ一步進メテ宜クナツタト考ヘテ居ルノデゴザイマス、ソレハドウ云フナンデアルカト申シマス、此後見監護義務者ノ順位ヲ定メマシタノハ、之レハ民法ノ規定ノ趣旨ヲ取リマシテ、其趣旨ニ依テ定メマシタ、即チ其趣旨ハ先ツ監護義務者ト云フコトニナルモノトスレバ、精神病者ノ幾ラカ抑ヘテ往クダケノ位地ニナクツチャ可ケナイト云フノデ、他ノ病人ト違フカラサウスルト云フト、先ヅ後見人ト云フモノノ順位ガ、後見人ニナルヤウナ人物ガ、即チ適當ノ監護義務者デアラウト云フ所カラシテ、此順位ヲ定メマシタ、即チ此後見人ト云フ者ハ第一ニ監護スル所ノ禁治產者ヲ監護スルノ義務アリト云フコトハ、民法ニゴザイマス、ソレデ此精神カラシテ後見人ガ先ヅ第一ニ來ル、其次ガ後見人タルベキ者ノ順位ニ依リマシテ、即チ後見人タルベキ者ノ順位ト云フモノハ、第一ニ配偶者、第二ニ親權ヲ行フ父又ハ母、其次ハ戸主、其次ハ親族會ノ選任ト云フコトニナツテ居リマス、其主義ニ依ッテ定メマシテゴザイマスガ、段々攻究ノ結果第一ハ我國ニ是マデノ慣習ニ於キマシテモ、戸主ト云フ者ガ先家族ノ面倒ヲ見テ行クト云フコトガ一体慣習デアル、ソレカラシテ配偶者ト云フ中ニモ、妻ニ對スル夫ハ適當デアラウガ、夫ニ對シテ妻ガ監護義務者ト云フコトデアアル場合ニハ、之ヲ監置スルト云フヤウナコトハ、ドウモ幾ラカ時宜ニ適セナイト云フヤウナ論モ段々出マシタ、ソレデ成程サウ云フ場合モアリ得ルコトデアラウト考ヘラレマス、併ナガラハ民法ノ主義カラ離レテ此位順ヲコ、ニ別ニ定メルト云フコトハ、土臺一舛ノ民法ニ適合シナイコトニナルノデス、大變サウスルト云フト問題ガ悖ル話ニナリマス、ソレデ唯此夫ガ精神病者デアッタ時分ニハ、妻ト云フ者ガ大跡此監護義務者ニナルガ、併シナガラ其話合ニ依ッテハ戸主ト云フ者ガ監護義務者ノ先ヘナツテ貫フト云フコトニシテモ、ソレハ差支ナイト云フ但書デゴザイマシテ、サウスルト云フト此民法ノ條ニモ混雜シテ、サウシテ活用ノ途ガソコデ付イテ來ル、慣習ハ戸主ト云フコトガ慣習デ、事實戸主ガ適當デアアル場合ナレバ、戸主ヲ持ッテ行クトガ出來ルト云フヤウナ途ガ開ケマス、是ハ事實上ニハ餘程都合ガヨカラウト考ヘテ居リマス、ソレデ此順位ヲ定メル考ヲサウ云フ風ニ、互ニ變更スルト精神病者ハ或ハ不利益ニナリハセナイカト云フヤウナ御懸念ガアルヤウデアリマスガ、併ナガラ此八條ノ精神病者云々監置ヲ不適當ト見做シタ時分ニハ、行政廳ハ第一條第二項ノ順位ニ拘ラズ、看護義務者ヲ指定シテ監置ヲ命ズルコトヲ得ト云フ規定ガアリマスカラ、例ヘバ不適當ノ戸主ヲ看護義務者ニシテ却ッテ適當ノ夫ガ——夫タルモノガ現然トシテ居ルト云フヤウナ場合ガアリマシタナラバ、此戸主ノ監置ヲ不適當ト認メタナラ

バ、行政廳ハ夫ニ夫ニ監置ヲ命ジ、シツカリシタ親ガアレバ其親權ヲ行フ父ニ監置ヲ命ズルト云フダケノ餘地ヲ取ッテアリマスカラシテ、事實ニ於テハ或ハ差支ナキノミナラズ、餘程便利デアラウカト考ヘテ居リマス

○(丸山嵯峨一郎君) 今ノコトニ付テ尙御尋ヲ致シマス、一舛此本案ノ看護法ノ主タル獨斷ニハ出來ルノデハナク、皆行政廳ノ指揮ヲ受ケテスベキコトデアラウト思フ、精神病者ナレバ其者ヲ監置スルコトノ必要ヲ認メテ、サウシテ官廳ノ指圖ニ依ッテ其監置ヲスレバ十分ノモノデアアルカラシテ、親トシテ子ニ對スル威嚴ヲ持タナケレバナラヌトカ、戸主トシテ權力ヲ有サナケレバナラヌト云フ條件ガ甚ダ薄イノデアッテ、ノミナラズ此監護者ハ雙方ノ同意ニミニ任セテ置ク時分ニ於テハ、其義務ヲ誰モ好ンデ爲スモノハナイ、普通ノ場合ノモノハ其義務ヲ避ケタイ、サウスルト實際ノ場合ニ於テハ其家ノ戸主トカ、或ハ配偶者トカ云フ毒ニモ藥ニモナラヌ者ニ義務ヲ負セテ、普通人ハ此義務ヲ避ケルト云フヤウナ弊ヲ生ズルノミナラズ、之ニハ順位ヲ變更シタトテモ行政廳ノ許可ヲ得ルト云フ規定モナイカラ、遂ニ此規定ノ目的ヲ達スルコトガ出來ナイト思フノデアリマスガ、左様ナ心配ト云フモノハ少シモナイノデアルガ、唯本法ハ人權ニ關スル重大ナルコトデアアルカラ、尙此事ニ付イテ質問ヲ致シテ置キマス

○内務省參事官(窪田靜太郎君) ソレハ其ノ若シ其毒ニモ藥ニモナラヌヤウナ普通看護ノ義務ニ充テテ置イテ、サウシテ肝腎ヤルベキ人物ガ後ニ廻ハツテ居ルト云フヤウナコトナレバ、本案ニハ書イテアリマセヌガ、看護義務者ノ順位ヲ變更シタナレバ居出ヲ致サセ、ソレハ命令ヲ以テ——施行法デ定メマス、サウ云フ事實ヲ認メマシタナラバ、先刻申上ゲマシタヤウニ、八條ニ依ッテ其改正ヲ命ズルコトガ出來マスデゴザイマス、外ノ者ニ監置ヲシロト云フダケノ命令ガ出來マスノデゴザイマスカラ、差支ハアルマイト云フ見込ミデゴザイマス

○(丸山嵯峨一郎君) 成程八條ノ規定モアリマセウガ、官廳デハ始終立入ッテ其人ノ能力及ビ位地等ノコトニ付イテ御調ベニナル積リデアリマスガ、左様ナ規定モナイヤウデアアル、或ハ斯ウ云フ但書ヲ付ケタナラバ、詰リ目的ヲ達スルコトガ出來ヌト云フ結果ヲ生ズルコトガアラウト思フ、若シ官廳デ居出ノアッタ時分ニハ、十分立入ッテ其人ノ位地或ハ能力トカ云フモノ、竝ニ家内ノ關係等ニ立入ッテ調ベルト云フコトガアレバ格別ダガ、チヨットサウ云フヤウナ規定モ見ナイヤウデスカ……

○内務省參事官(窪田靜太郎君) 是ハ其ノ十分ニ精神病者ノ監置ノコトニ付キマシテハ取調ヲ致ス積リ、即チ十一條ニモ此家ニ臨檢シテ調ベルト云フコトモ出來ル途ヲ開イデアリマス、ソレデ右様ノ場合ニハ何レ其家族ノ關係、ソレニハドウ云フ家族ガアル、家内ガアルトカ、醫者ガアルトカ或ハ戸主ハドウ云フ手續カラト云フヤウナコトハ、無論是ハ其ノ此官廳ノ許可ヲ願ッテ來ル時分ニ書カセマスル積リデ、ソレ故ニ若シ相當ノ看護義務者タルベキ人ガ

アルニモ拘ラズ、同意ヲ以テ他ノ縁ノ遠イヤウナ人ニ持ッテ往ッテ居ルト云フヤウナ場合ガアリマシタナラバ、無論ハ十分調べナケレバナラヌ積リデゴザイマス、ソレデ後見人ノ次第モゴザイマスガ、茲ニ書イテアル通りノ順序ニ致シタナラバ、後見人ノアル場合ハ恐ラク差支ハアルマイト思ヒマスガ、後見人ノナシ此精神病者ニ對シマスル場合ニハ、往々ニシテ不適當ナル妻トカ、或ハ不適當ナル老母ト云フヤウナモノガ、義務者ニ當リマシテ其者カラ色ノ官廳ニ對スル手續トカ、官廳カラ其者ニ對シテ差圖スルト云フコトニナリマスレバ、却テ其困ル場合ガアリハスマイカト思ヒマス、ソレヨリモ是ダケノ便宜ノ途ヲ開イテ置キマスレバ、左様ナ場合ヲ強制スルダケノ途ガ付キマスカラ、事實上ニ於テハ都合ガ宜カラウト考ヘテ居リマス

○(麻生太吉君) チョット御尋ヲ致シマスガ、十七條ノ第三項ノ「程度」ト云フノハドウ云フノデスカ

○内務省參事官(窪田靜太郎君) 是ハ詰リ檻置ノ方法ノ變更ニ伴ヒマシタ事柄デアリマス、即チ精神病者ニ對シテ外へ出スト云フト懸念ガアル、是ハ門外ニ出サヌ家ノ中ニ於テ檻置スルト云フダケノコトデ、境界ヲ立ッテ居ルトカ、ソレダケノ命令ヲ受ケテ居ルニモ拘ラズ、一步進ンデ一室ニ坐敷牢ヲ設ケテ押込ンダトカ、或ハ坐敷牢ニ入レテ置クト云フダケノ許可ヲ得テ置キナガラ、一步ヲ進ンデ手桎足桎ヲ掛ケテ束縛シタト云フヤウナ、拘束ノ程度ヲ超エタコトヲ致シタ場合ガアリマシタナラバ罰シマス積リ、又必要ガアッテ其程度ヲ變更シナケレバナラヌトキニハ、更ニ届出ヲシナケレバナラヌ、届出ヨリモ甚イコトヲヤッテ居ルヤウナコトガアリマスレバ罰シマス

○(丸山嵯峨一郎君) 此檻置ノコトハ種々規定シテ居リマスケレドモ、檻置ノ場所及ビ届出當時ノ手續ト申シマスレバ詳細ノコトデナイ、例ヘバ果シテ精神病カドウカラ検診スルト云フヤウナ手續、サウ云フ規定ガ粗漏ニナッテ居ルカト思フ、本案ノ精神ニ依ルト、第九條ニ私宅檻置云々ト云フコトガアル、斯様ナコトハ最初看護義務者カラ、精神病者ヲ檻置スル許可ヲ受クルノ際、其方法及ビ場所ノコトハ是ヲ許可ノ條件トシテ委シク是ヲ願書ニ認メサセテ、尙其届出アリタル時分ニハヤハリ第十一條ノ如クニ、指定シタル醫師ヲシテ検診ヲ爲サシメ、又ハ其場所ニ臨檢サセルト云フ必要ガアルト思フガ、然様ナコトハ必要ガナイト云フノデ、唯届出許可ト云フコトニナッテ居リマス

○内務省參事官(窪田靜太郎君) ソレ等ハ命令ヲ以テ定メマス積リ、第三條デ許可ヲ受ケル其願書ニ付イテ、唯今仰シヤッタヤウナ檻置ノ場所方法程度ト云フヤウナモノハ、ソレニ書カセテ願ハスル積リ、ソレニ尙何レ精神病者ニ相違ナイガ檻置ノ必要ガアルト云フ醫師ノ診斷書ヲ差出サセマス、ソレモ場合ニ依ッテハ一名トシナケレバナラヌト思ヒマスガ、其處ハ未ダ決定シマセヌ、何レ診斷書ヲ添ヘテ出サセルト云フ見込ヲ以テ、詳細ニ涉リマスカラツレハ命令ヲ以テ致ス積リ

○(丸山嵯峨一郎君) 意見ト云フマデモアリマセヌガ、第三條ニ許可ヲ受クベシト云フ規定ヲ設ケルノデアリマスカラ、此場合ニ許可ヲ受クル條件トシテ、其方法場所ヲ詳細ニ認メテ届出ト云フ規定デモ置カヌト、此方法ヤ或ハ場所ノ制限トカ程度トカ云フコトニ付イテハ、幾ラカ施行法ニ譲ッテ差支ナイガ、行政廳ノ許可ヲ受クルニハドウ云フ方法デスルト云フコトヲ規定ニ置カヌト法ノ精神ヲ誤ルト思ヒマスガ、格別必要ハナイト云フ御考デスカ

○内務省參事官(窪田靜太郎君) 許可ヲ受ケルト云ヘバ、一面願書ヲ出サナケレバナラヌト云フコトモ含ンデ居ル、其願書ニドウ云フコトヲ書イテ來ナケレバナラヌト云フコトハ、他ノ法律デモ施行命令ニ屬スル事柄ニナッテ居リマスノデ、此法律ノ中ニハサウ云フコトハ書キマセヌ、ソレハ無論施行命令デ書キマス積リデス

○(麻生太吉君) 許可ヲ受ケマシタトキハ、大ニ病狀ガ變ッテ程度外ノ檻置法モ設ケナケレバナラヌト云フトキニ、但書ノ急迫ノ事情アルトキハ、假リニ檻置モスルト云フコトガゴザリマスカラ、此場合ニ届出レバ十七條ノ三項ノ用ハナイデスカ

○内務省參事官(窪田靜太郎君) サウデス、唯今ノヤウナ場合ガ生ジマスト第四條ニ依ッテ必要ナ變更ヲシテ、二十四時間内ニ居書ヲスレバ宜シイ、其居書デ斯ウ云フ必要ガアリマシタカラ、斯ウ云フ程度マデ變更スルト届出レバ、十七條ノ第三項ハ當ラン、サウシテ前ニ許可ヲ受ケタ儘デ置キナガラ加ヘタト云フコトガアリマシタラ、十七條ノ三項ニ持ッテ參ル積リ……

○(麻生太吉君) 第二條ノ二項ニ假檻置ノ期限ハ五日ヲ超ユルヲ得ストアリマスガ、急激ナ場合ニ届出ルコトハ假檻置ノコトモ行政廳ノ許可ヲ得マスガ、假檻置ノ届出サヘアレバ五日間ハ許可ヲ得ルニ及バヌト云フノデスカ

○内務省參事官(窪田靜太郎君) 届出サヘアレバ五日間ハ許可ヲ得ナクテ差支ナイ

○(丸山嵯峨一郎君) 今麻生サンノ質問ノ如ク、假檻置ノ期間ハ五日ヲ超ユルヲ得ズ、是ハ何モナイヤウデスカ、元ト精神病者ニ關スルコトデ、随分檻置ノ方法或ハ檻置セラる精神病者ノ性質ニ依ッテハ、是迄極ク輕微ナ檻置ヲ要スルコトガナイ精神病者デモ、或ハ檻置ノ方法ニ由ッテ眞ノ精神病者トナルコトデアル、又精神病者ノ傾キヲ持ッテ居ル者デ、身軀精神ノ薄弱ナルモノハ、本當ノ精神病者ニナルコトガアラウト思フ、何レ精神病者ノ檻置デスカラ、必ズ自由ヲ得サセテ置クトハナイ、必ズ拘束ヲ加ヘテ置クデアラウト思フ、ソレデアアルカラシテ其届出ノ際ニ、指定シタル醫師ヲ以テ檢診セシムルトカ、臨診セシムル手續ガナイト、或ハ五日間ノ偽證ヲ作ルカモ知レナイ、左様ナ心配ガナイト云フ御意見デスカ

○内務省參事官(窪田靜太郎君) 唯今御述ベニナリマシタヤウナ精神病者ヲ入レルトカ、或ハ輕イ者ヲ重クスルコトノナイヤウニ致スノガ、即チ此法案ノ主眼ノ目的デゴザイマス、ソレデ種々規定シタノデアリマスガ、段々種々ノ場

合ヲ考ヘテ見ルト、精神病者ト云フモノガ俄ニ發作シテ來テ、ドウシテモ之ヲ放ツテ置ケナイト云フヤウナ場合ガアリマス、其場合ニチヨットノ事ナレバ、詰リ先刻申上ゲマシタヤウナ檻置ト云フマデニ至ラヌデ濟ミマスガ、併ナガラ行政廳ノ許可ヲ受ケルダケノ手續ヲスル位ノ者ハ、ドウシテモ座敷ニ閉ジ籠メルダケノ必要ハアラウト考ヘル、ソレマデ行政廳ノ許可ヲ受ケルニハ急イダナラバ、五日デ出來ヤウト思ヒマシテ、五日ト書キマシタガ、ソレダケノ期間ハ假リニ檻置ガ出來ルト云フ規定ガゴザイマセヌト、速モ實際ノ運ビガ出來ナイ、ソレニ對シテ之ヲ濫用スルコトガアリハシナイカト云フコトニ付イテハ、十分ニ防ギマス見込デゴザイマス、ソレハ此假檻置ヲ致シマシタナラバ二十四時間内ニ居出ナケレバナラヌ、其居ケヲスルニ付イテ若シ左程檻置スル程ノ必要ガナイモノニモ拘ラズ、出刃庖丁ヲ持ツテ斬ツテ掛ツタトカ、或ハ近傍ノ者ヲ擲ツタトカ申サウナ虚偽ノ事ヲ申出デマシテ、假檻置ヲシタモノガアリマスレバ、ソレハ此十六條ニ依ッテ一年以下ノ重禁錮ニ處スル積リデゴザイマス、ソレデドウモソレダケノ途ヲ付ケテ置クヨリ仕方ガナイト思フ、唯今御述ベニナリマシタ如キ醫師ノ診斷書ヲ添ヘテ居ケルト云フコトナドハ、施行命令書ニ書キマスル積リデアリマス、併シナガラ山間僻地ニ於テハ、二十四時間内ニ醫者ノ居ケヲ持ツテ來ルコトハ出來マイト思フ、サウ云フ時ニハ例外ノ規定ヲ設ケナケレバナラヌト思ッテ居リマス、何レ其邊ノコトハ施行命令デ規定致ス積リデゴザイマス

○(丸山嵯峨一郎君) 此三條ノ但書ニ二十四時間内ニ行政廳ニ居ケ出ヅベシト云フ規定ガアルノニ、此居出デガアツテモ尙五日間ハ臨檢モセズ、檢診モセズニ置ク場合ハ甚ダ少ナイ、餘程天災地變デモナケレバナカラウト思フノデアリマス、ドウシテモ此目的ヲ達スルニハ居出デガアル、直チニ檢視ヲ行ヒ或ハ臨檢ヲ行ツタナラバ、或ハ精神病者ヲ製造スルト云フヤウナモノモ、多少ハ救ヒ得ラルト思フ、成程虚偽ノ申立ヲスルトカ、或ハ虚偽ノ鑑定書ヲ作ルトカ、左様ナ事柄ニ付イテノ罰則ハアルケレドモ、其罰則ノアルタメニ此五日間ヲ檻置スルト云フ上カラ生ズル弊害ヲ濟フコトガ出來ナイト思フ、何故ナレバサウ云フコトハ立入ッテ調ベルコトガ出來ナイ、調ベテ居ル中ニハ遅クナツテ仕舞ウカラ、ドウシテモ第十一條ノヤウナ精神ヲ以テ此際ニ規定スル必要ガアラウト考ヘマス、第十一條ハ斯ウ云フ風ニ規定シテ置イテ、第三條ノ場合ニハ別ニ施行命令デ規定シナケレバナラヌト云フ必要ガアル

○内務省參事官(窪田靜太郎君) 十一條サヘゴザイマスレバ、後ハ施行命令デ規定ガ出來ルノデアリマス、如何トナレバ十一條ハ精神病者ノアル家ニ臨ンデ臨檢ヲスルト云フ規定デアリマス、是ダケノ權限ヲ行政廳ニ取ツテ置キマセヌト、私ノ家ニ精神病者ガ居ルケレドモ御出デハ御免ヲ蒙ルト言ハレルト仕方ガナイカラ、イヤト云フテモ往ツテ見ルゾト云フコトガ法律ニ書イテアルカラ其權限ニ依ッテ假檻置ヲシテアルト云フ居ケアレバ、醫師ヲ其家ヘ臨マセマシテ檢診サセル積リデゴザイマス、ソレダケノ事ヲ致スニハ十一條ガ

アル以上ハ、法律ヲ以デマナクトモ、行政上ノ手續ニ依ッテ出來ルモノデアリマス

○(秋保親兼君) 是ハ一鉢何カ歐米各國ノ斯ウ云フ法律ニ依テ調ベタモノデアリカ、他ニ據リ所ガアツテ拵ヘタモノデアリカ

○内務省參事官(窪田靜太郎君) 此法律ヲ作リマスニ付イテハ他國ノ法律ニ依ッタト云フ譯デハナイ、併シ他所ノ法律ヲ見タコトハ見タノデアリマス

○(丸山嵯峨一郎君) 第三條ノ末項ノ精神ト云フモノハ、ドウ云フ行政廳ノ許可ヲ受ケルノデスカ

○内務省參事官(窪田靜太郎君) 是ハ斯ウ云フ譯デゴザイマス、一度行政廳ノ許可ヲ受ケテ檻置シタト云フ精神病者デアレバ、許可ヲスル前ニ充分診査シテアルモノデアリカラ、其者ガ精神病者デナイモノヲ檻置シタトカ、或ハ左程ノ精神病者デナイト云フヤウナ弊害ハナイノデゴザイマス、然ル所サウ云フヤウナ一度檻置シナケレバナラヌモノデアリ位ノ精神病者デアルト、ソレガ一時全快シテモ再發スルコトハ随分多イ様子デス、ソレデ其再發スルガ而カモ大抵多イノハ一年二年、長イ所デ三箇年ソレカラ過ギマシテ再發シナカッタナラバ、モウ大抵大丈夫ダト云フモノダサウデアリマス、是ハ專門ノ醫家ノ說デアリマス、其場合ニ再發スルト云フコトハ餘程仕易イモノデアリマスカラシテ、左様ナ場合ニハ一モウ一度許可ヲ得サセヌデモ、居書ヲ出シテ置イテサウシテ萬々一ツレガ不當ノ檻置デモシテ居ルト云フコトハ、十一條ノ行政廳ノ監督ノ方デ出來マスカラシテ、是等ハ居出ダケヲ以テ檻置ヲサセタ方ガ甚ダ便利デアル、若シコレヲ又モウ一遍許可ヲ得ナケレバ檻置ガ出來ナイト云フコトニスルトカ、或ハ一度許可ヲ得ルコトノ手續ヲ厭フタメニ、大抵檻置ヲ廢シテモ宜イト云フ精神病者ニ對シテモ、一月ノ内ニ又起ツテ來タ時分ニ許可ヲ受ケナケレバナラヌデ、今少シ是デ置カウト云フ弊ガ或ハ生ズルカモ知レマセヌ、寧ロソレハ大體斯ウ云フ場合ナレバ無論再發ト云フコトノ憂ガナイカラ、サウ云フ場合ニハ手續ヲ簡ニシテ、再發ノ場合ニ檻置ガ出來ルト云フ方ニシテ置ク方が、宜ク檻置ヲ解イテヤルト云フコトニナツテ來ル、デ其方ガ保護ニモナルダラウシ、適當デアラウト云フ醫家ノ論カラ起リマシタ論デアリマス

○(丸山嵯峨一郎君) 御説明ニ依リマス、精神病者ノ病狀ガ若シ一樣デアッタナラバ、斯様ナ單純ノ規定デモ宜カラウケレドモ、精神病者ニハ定時ノモノモアリ、不定時ノモノモアル、或ハ特定ナル事柄ニ付イテ病ヲ得テ居ル者モアリ、全體ノ精神病者モアルト云フコトヲ聞テ居リマス、成程チャント一定ノ時期ヲ定メテ發スルモノナラバ、其病症ニ依テ大抵認メルコトガ出來マスカラ、居出ノミデモ宜イカモ知レヌ、左様ナ精神病者ヲ除クノ他、ヤハリ一旦治愈シタモノガ治愈シタモノデアラナラバ、其後縱令三年以内デアラウトモ再ビ發シタ時分ニハ、其精神病者ヲ檻置スルコトニ付イテ許可ヲ得ルコトガ、ヤハリ當然デアラウト思フノデアル、殊ニ此精神病者ニ付テ三年ト云フ

事柄ハ、數理的ニ果シテ斯様ナ制限ヲ受クベキ何カ理由ガアルカ、其邊ノコトハ私共能ク分リマセヌケレドモ、併シ此制限ノ短イノハ三年ドコロデナク四季ニ出ルトカ半季ニ出ルトカ云フモノガ随分多イ、ソレカラ此三年以後ニナツテ必ズシモ病根ガ絶エルト云フコトモ聞カヌノデアリマス、ドウ云フ譯デ此三年ノ制限ヲ置クノデアルカ、ソレデ決シテ精神病者ハ一様デナイカラ、其一般ノ規定ヲ設ケルニハヤハリ此精神病者ガ一旦治癒シタル後、更ニ精神病者トナツタ、其精神病ガ果シテ前ノ精神病ト同一デアルカ否カト云フコトハ、事實ノ問題デアアルガ、何故一ノ精神病者ニナツタ者ヲ檻置シナケレバナラヌト云フコトニシタ方ガ宜カラウ、殊ニ精神病者ニハ全ク別ノ精神病ガ發シタル場合ガアル、サウ云フ場合ニ前ニ一度精神病デアツタ者ガ、又一種特別ノ精神ヲ發シテモ、許可ヲ受ケルト云フノデアリマスカ

○内務省參事官(窪田靜太郎君) 此三箇年ト申シマスノハ、是ハ今日吾國ニ於キマシテ、精神病學ト云フモノヲ專門トシテ居ル醫者ノ人ノ説デ、是其經驗上又其自分ノ讀シタ書物ナドカラ見テモ、癡リ切ルモノナラバ此三箇年ヲ經テ——三箇年以内ニ再發シナケレバ大抵癡リ切ル、發スルモノナラバ大抵三箇年以内ニ再發スルト云フコトノ實驗上ノ説カラデアリマシテ、ソレニ對シテ吾々ハ何トモ言ヒ方ガゴザイマセヌシ、尙其説ニ付イテ此案ヲ設ケマシテ、是ニ付イテ醫者ノ集ツタ所デ議シマシタノデアリマスケレドモ、孰レモ其説ニ反對ヲ唱ヘル人モナカッタノデ、其故ニ是ハ確カナモノニ見テ宜カラウト考ヘマス、此届出ヲサセマス、許可ヲ受ケサセヌデ届出ヲサセテ、唯届出ダケデ極ク勝手次第ニナルカト云フヤウナ、御懸念モアリマスデゴザイマスガ、ソレハ十分ニ行政上ノ監督ヲ以チマシテ、此或ハ醫師ヲ派遣シテ十一條ニ依テ檢視ヲナサシメルコトデゴザイマセウシ、官吏モ臨檢セシメルコトモアリマセウ、十分ニ取調ヲシテ往ク積リデアリマス

○(丸山嵯峨一郎君) 成程學說上三年以内ニ再發シナケレバ再ビ發スル憂ガナイト云フコトハ、或ハ經驗上サウカモ知レマセヌガ、サウ云フコトデナクテ是ハ三箇年後ノ話デナクテ、三年以内ニ更ニ之ヲ檻置セシメルト云フ規定ニナツテ居リマス、ソレデアルカラシテ此三年ト云フ制限ヲ立テサウシテ許可ヲ要スル、或ハ一方ニ許可ガナクテモ届出ダケ直チニ檻置スルト云フ時分ニナルト、僅ナコトデ人ヲ檻置スル、重大ナル事柄デ大變ナ相違ガ出來テ來ル、容易ク見ルコトガ出來ル、事實ハ若シサウ云フ精神デアル時分ニナルト、幾時モ精神病ノ氣味デモアレバ縱令親屬其他ノ看護人ガ十分ニ手當ヲシテ、最初發シタルトキノ如ク、非常ナル亂暴狼藉ノコトニ至ラズトモ通ルコトガアル、サウシテ其狀態ガ繼續シテ居テ、既ニ治癒シタルト云フトキカラシテ數ヘレバ、再發ヲシテ更ニ亂暴ヲ初メタトキニハ、三年或ハ其他ノズツト年限ヲ經テ居ルト云フテモ、事實カラ言フト程度ノ低イ精神病ノ病狀ヲ繼續シタル場合ニ、サウ云フ場合ニ三箇年ト規定シテハ效用ガ長クナツデシマウ、マルツキリ此届出ト同時ニ完全ニ治癒シテシマウト云フ場合ニハ、今ノヤウナ御説明デ

ハ十分デナカラウケレドモ、其病症ガ檻置スル必要ガナイケレドモ、其氣味ガ始終絶エナイデ居テ、サウシテ三年モズツト後ニナツテ、再ビ其病症ガ非常ニ高マツテ來ケレドモ、三箇年以前ニ治癒シタルト云フニ付テ、檻置スル必要ハナカツタ、ナカツタケレドモ今度再ビ發シタルト云フ時分ニハ、三年以内ダカラ許可ノ必要ハナイト云フヤウナ事柄デハ、少シ理窟ガ合ハヌヤウニナリマスガ

○内務省參事官(窪田靜太郎君) ソレハサウ云フコトガナイトモ言ヘヌデゴザイマス、ソレハ治リキツタノザヤナイ、檻置ノ必要ガナイカラ廢シタ、ソレデ三年經ツデ——ブラッ、ヤッタ所ガ何ゾ圖ラン五年目ニナツテ大變亂暴ヲヤッタト云フコトハ無論ナイコトハナイノデゴザイマスアルト見ナケレバナラヌ併ナガラ大體ニ於イテ左様ナ病氣ノ發作ト云フモノハ醫家ノ經驗上ニ於キマシテ若シ來ルナラ三箇年以内ニヤツテ來ルト云フダケノ説ガアリマシタナラバソレニ依ツテ此規程ヲ設ケルト云フコトハ強チ不當デハアルマイト思ヒマス如何デゴザイマスカ

○(丸山嵯峨一郎君) サウスルト精神病ノ氣味ガナケレバ檻置スル必要ハナイト云フ……

○内務省參事官(窪田靜太郎君) サウ云フヤウニ申シタルデアリマセヌ檻置ヲ廢シマスル場合ニハ固ヨリ治癒ヲシタモノデソレデ醫家ノ説ト申シマスノモ治癒シタルモノナラバ再發ハ三箇年以内ニ大抵スルモノナラヌ其平穩ニナツタト云フ人物ガ又ソレガ亂暴仕出スト云フコトハ三箇年カ五箇年カト云フヤウナコトハドウモ極マリガナイデヤナイカト云フ御説ト伺ヒマシタガ醫家ノ述ベマシタ所デハ其治癒シタル場合ト平穩ニナツタ時分ト區別シタルデハゴザイマセヌ畢竟其後ト戻リヲシテ來ルト云フモノハ大抵三箇年以内ニアル又精神病者ハ癡リキツテ仕舞フト云フコトハ寧ロ少ナクテ三箇年以内ニ又發スルト云フコトガ随分多ヒヤウナコトニ聞キマシタ

○(丸山嵯峨一郎君) ソレカラ第十條ノ「監護ニ要シタル費用ハ被監護者ノ負擔トシ被監護者ヨリ辨償ヲ得サルトキハ其扶養義務者ノ負擔トス」斯ウ云フ規定ハ是ハ官廳カラシテ監護ニ對スル費用ト云フ意味デセウナ

○内務省參事官(窪田靜太郎君) イヤ其積リデハナイノデゴザイマス

○(丸山嵯峨一郎君) サウスルト民法上ノ自ラ責任ハ大抵極マツテ居ルノデスガ若シ行政廳カラ……

○内務省參事官(窪田靜太郎君) 被監護義務者ノ負擔ヲ明ニスル趣意デ書キマシタ其監護スル義務ガ自分ガ費用ヲ出シテ監護スル意味デアルカ明ナラヌソレハ被監護者ノ負擔ガ至當ナコトデアラウト考ヘテ居リマス 其費用ト云フモノハ本人ノ資力ノアル場合ニ於イテハ本人ガ負擔スルコトハ民法デモ其ノ如ク本人ガ資力ノナイ場合ニハ其必要ナ監護費用ハ扶養義務者ガ負擔スルト云フコトニ皆サウナツテ居ルサレバ此趣意ハ皆扶養義務者ノ負擔デヤナイト云フコトヲ明カニスルタメニ設ケマシタ

○(丸山嵯峨一郎君) サウスルト民法上ノ規定モ此處ニ雜ツテ來ルヤウナ譯

ニナルノデ二項ノ「市町村長ニ於テ監護スル場合ニ於テ」是ハ官廳ノサセルモノデアラウケレドモ此假令バ檢身ヲスルトカ或ハ臨檢ヲスルトカソレハ職務上スルコトデアリウケレドモ其際ニ於テ特別ノ費用ヲ要シタル場合ニモヤハリ此十條ニ依ッテ義務ノアルモノトナイモノト區別スル斯ウ云フ御意見デスナ

○内務省參事官(窪田靜太郎君) 此十一條ニ示シテアリマス費用ハ無論官費デ其費用ヲ病者若クハ扶養義務者カラ取ルト云フ意味デハナイノデス御尋ハドウ云フ……

○(丸山嵯峨一郎君) 其際ニ於テ必要ナル費用ト云フモノガ生ズル其際ノ費用ナドモ皆籠メテ此詰リ民法ノ義務ヲ此處ニ特ニ掲ゲタノデゴザイマスカ

○内務省參事官(窪田靜太郎君) 民法上ニモ詰リ此處ニゴザイマスル如ク監護義務者ノ負擔デハナイ費用ノ出途ハ斯ウ云フ風デアルカラシテ監護義務者ガ若シ立替ヘタラツレダケノ費用ハ被監護者カラ取レル扶養義務者ガ取レルト云フコトヲ規定致シマシタソレカラシテ行政廳デ手續ヲ履ンダ費用ハ無論監護ニ要シタノデヤアリマセヌカラ無論官費デゴザイマス

○委員長(齋藤壽雄君) 私カラチヨット質問シテ置キマス第三條ニゴザイマス二十四時間内ニ行政廳ニ届出ル此行政廳ト云フノハドノ位マデノ規定ニナル御見込デゴザイマス

○内務省參事官(窪田靜太郎君) 是ハ其許可ヲ致シマスルコトハ府縣知事ガ許可致スコトニ致シマシテソレカラ急迫ノ場合ニ届ケマスノハ警察署ヘ届ケレバ宜イト云フコトデアリマス

○委員長(齋藤壽雄君) ソレデ極ク其偏僻ナ田舎ヘデモ參ッテ警察署ノ三里若クハ五里隔ッテ居ルヤウナ場所デハドウ云フ……

○内務省參事官(窪田靜太郎君) 是ハ傳染病豫防法ニモ届出ハ今日二十四時間間若シ其時分ニ使ヒヲ以テ居書ヲ出シマストキハ其使ハ警察署ヘ二十四時間内ニ届ケナクツチヤイカヌ二十四時間内ニ出セバ宜イ取締ルト云フコトニナッテ居リマスヤハリ其積リデ大抵差支ナイト思ヒマス

○委員長(齋藤壽雄君) ソレデ傳染病ノ届出ハ地方ニ依ッテハ地方ダケデ巡查ノ駐在所ヘ出シテモヤハリ傳染病ノ届出ノヤウナモノハ受取ルコトニナッテ居ル所ガ往々アル是等モヤハニ其都合ニナッテ差支アリマセヌカ

○内務省參事官(窪田靜太郎君) 駐在事務所ニ出セバ宜シイ

○委員長(齋藤壽雄君) 第五條ニ依ルト、精神病者ガ治癒死亡行方不明トナリ、又ハ其檻置ヲ廢止シタトキハ、届出ルトアルガ、第八條ノ第三項ニ據ルト許可ヲ受ケナケレバ、檻置ヲ廢止シ、又ハ其方法場所ヲ變更スルコトガ出来ナイヤウデアリマスガ、是ハ許可ヲ得テ改メテ、サウシテ又届出ヲ出スノデアリマス

○内務省參事官(窪田靜太郎君) 五條ハ一般ノ場合デス、八條、三項ハ行政廳ガ命令シテ檻置シテ居ル精神病者デスカラ、是ハ向フガイヤガツテ居ルト

見ナケレバナラヌ、其場合ニハ許可ヲ得サセナケレバ、ドウモ權衡上不都合デアリマス

○(丸山嵯峨一郎君) 第十二條ニ據リマスルト、行政訴訟ヲ起スニハ、是ハ權利ヲ傷害セラレタルト云フ條件ガアリマスガ、十三條ニ據ルト行政處分ニ不服ノ者ハ訴願ヲナスコトヲ得ルトアル、是ニハ權利ヲ傷害セラレタルト云フ文字ガアリマセヌガ、是ハドウ云フ精神カラ此區別ヲ立テタノデアリマス

○内務省參事官(窪田靜太郎君) 十二條ハ違法處分デアアル、法律ニ違ッテ居ルト云フノデナイトモ、其處分ガ不當デアルト云フ場合ハ、隨分アル違法デナイガ不當デアアル、デ、行政裁判所ハ違法處分ヲ裁判スルノデアアルガ、訴願ノ方ハ行政ノ不當處分ニ對シテ、此訴願ヲスルコトガ出來ルノデアリマス

○(丸山嵯峨一郎君) 詰リ十三條ハ違法處分ト云フ意味モ這入ッテ居ルノデスカ

○内務省參事官(窪田靜太郎君) ソレニ尙申シテ置キマスガ、行政裁判所ニ出訴スルニ付イテハ、手續ガ餘程オコウデアアル、又費用モ掛ルケレドモ訴願ノ方ハサウ掛リマセヌ、故ニ違法ノ處分デモ違法ノ處分デアルカラ、私ノ權利ヲ傷害シテ居ルト云ツテ爭フナラバ、行政裁判ニ行クガ宜シイ、併シ又違法デアッテモ權利問題トシテハ爭ハナイデ、事實ドウモ困ルト云ツテ訴ヘルナラバ、訴願シテ宜シイ、故ニ不服ト云フモノハ違法處分デアル場合デモ行政裁判ヲ利用シナイデ、唯困ルカラト云ツテ、歎願ノ途ヲ採ッテ行クコトモ出來ルノデアリマス

○(丸山嵯峨一郎君) 十三條ニハ、サウスルト違法處分ヲ含ンデ居ルノデスカ

○内務省參事官(窪田靜太郎君) 違法ガアッテモ宜シイ、併シ違法ト云フ廉ヲ以テ來レバ、行政裁判デナケレバナリマセヌガ、唯事實困ルト云フ廉ヲ申立テ、來ルナラバ、訴願デ宜シイノデアリマス

○(丸山嵯峨一郎君) 是マデノ法律ノ規定ハ大抵訴願ノ途ヲ開イテ、最後ノ救済ノ途トシテ行政裁判所ニ出訴スルコトガ順序デアリマスガ、是ハ一種別ノ規定ノヤウニ私ハ認メラレル、權利ヲ傷害サレタコトハ、違法處分ニ依リ權利ヲ傷害セラレタモノニ限ルノデアアルガ、サウデナクシテ、唯行政處分ニ不服ガアルト云フダケヲ訴願ヲ許ストスルト、大變解釋ガ困難ニナルデアラウト思フ、ソレデ行政裁判法ニ云フ權利ト云フノハ、例ヘバ營業ノ許否ニ關スルトカ、土木トカ、治水ノ如キ、アノ箇條ニ依ッテ權利云々ノコトヲ解釋スルノデアアルカラ、容易デアアルガ、此法律ノ上ニ於テ云フ權利ハ、アノ行政裁判法ニ云フ所ノ權利トハ、少シ違フノデアアルカラシテ、十三條ニ於テモヤハリドノ場合ニモ權利ヲ傷害サレタリト解釋シナケレバナラヌ場合ガ多イカラ、十二條十三條ノ解釋モ面倒ニナルデアラウト思フノデアリマス

○内務省參事官(窪田靜太郎君) 御覽ノ通り行政廳ノ違法處分ニ依リ、己ノ權利ヲ傷害サレタカラ不都合デアアル、救済シテ貰ヒタイト云フナラバ、行政

裁判所ニ出ルノデアアルガ、併シ若シツレハ出來テモ、自分ハツレハシナイ、行政裁判ハ費用ガ掛ルト云フノデ、其途ハ取ラナイデ、兎モ角モ斯ウ云フ處分ハ、私共困ルカラ何トカ始末シテ貰ヒタイト云フモノガアルナラバ、十三條デ出テ往ツテ宜シイ、必シモ違法處分デアアルカ、如何ト云フコトハ多ク場合ハ、決定シタ後デナケレバ分リマセメケレドモ、其點ヲ本人ハ主張シナイデ、不服ダト云フコトダケヲ主張シマシテ來ルナラバ、十三條ニ依ッテ訴願シテ來テ宜シイ、詰リセラレタリトスルナラバ行政裁判ヲ請フ、尙附加ヘテ申上ゲマスガ、行政裁判所ヘ出マスニ付イデハ、下級行政廳ノ訴願ヲ經テ出ナケレバナラヌト云フ規程ガアル、ツレ故ニ若シ警察署ノ處分トカ、或ハ市町村長ノ處分ト云フモノニ對シテ、違法處分デ權利ヲ侵害サレタト云フトキニハ、町村長ニ訴願シテ其裁決文ヲ持ッテ行政裁判所ニ來ルト云フ順序ニナル、併ナガラ其訴願ハ行政裁判ト云フコトニ付イデ、一ツノ段階ニ過ギナイノデス

○(丸山嵯峨一郎君) サウスルト十二條ノ條文ニ依リ、行政裁判所ニ出訴スル場合ハ、ヤハリ訴願ノ道ヲ經ナケレバナラヌトスルト、十三條ニ於テノ訴願ノ道ハ特別ノ規定ニナリマスカ

○内務省參事官(窪田靜太郎君) ツレハ申立ヤウニ依ッテ違フノデス

○(丸山嵯峨一郎君) スルト二ツノ違フ所ハ訴ノ上ノ申立ニ依ッテ、形式ヲ異ニスルトノデ、茲ニアル判決ト云フノハ判決ヲ求メタリト云フ目的ニ向ッテ、區別シタノデハナイノデアリマスナ

○内務省參事官(窪田靜太郎君) 是ハ申立ノ論據ニ依ッテ違フノデ、目的ニ依ッテ區別シタノデハナイノデス、併ナガラ唯今ノ話ハ兩方共違法デアッタ場合ニ付イテ申シタノデアッテ、或場合明カニ違法ザヤナイト云フ場合ガアルケレドモ、之ハドウモ斯ウ云フコトヲサシテハ困ルト云フコトヲ申立テルコトハ、十三條ニ依ッテ訴願ガ出來ル、併ナガラ行政裁判所ヘ持出スコトハ出來ナイ

○(古谷新作君) 此八條ニ「監護義務者ヲ指定シ之カ措置ヲ命スルコトヲ得」ト規定シマスル、然ルニ貴族院ノ修正ニ依ルト「本條ニ依リ精神病者ノ監護ヲ命セラレタル監護義務者其命ヲ履行セサルトキハ第六條ノ例ニ依リ」ト云フコトデアリマスガ、サウスルト貴族院ノ精神ト云フモノハ履行セヌト云フトキニハ十九條ノ二項ヲ適用シテ、六條ノニ依ルト云フ精神デアリマスガ、或ハ十九條ノ二項ハ適用セヌト云フ、貴族院ノ趣意デアリマスカ

○内務省參事官(窪田靜太郎君) 一面ニハ十九條ヲ適用シ、一面ニハ其精神病者ヲ拾置ノ譯ニ行カヌ故ニ六條ニ依リ市町村長ヲシテ監護セシメル、而テ市町村長ガ監護スルタメノ費用ハ第一ニ病者ニカ、リ、病者本人ガ無資力ナレバ扶養義務者ニカ、リ、ソレモ無資力ナレバ行旅病人ト同ク府縣費ノ負擔トナルノデス

○(古谷新作君) 義務ヲ履行セヌトキハ、ヤハリ十九條ノ二項ニ依リマスカ

○内務省參事官(窪田靜太郎君) 左様デス

○(丸山嵯峨一郎君) 此十五條ニ「官吏公吏又ハ行政廳ノ命ヲ受ケテ公務ヲ行フ醫師本法ノ執行ニ關シ賄賂ヲ收受シ又ハ之ヲ聽許シタル者ハ刑法第二百八十六條ノ例ニ照ラシテ處斷ス」ト斯ウナッテ居リマス、刑法ノ上カラ云ヘバ提供スルモノヲ罰スルノデアリマスガ、官吏公吏ニ賄賂ヲヤツテサウシテ詰リ或ル場合ニハ詐偽ノ所爲ニナルダラウト思フ、ツレハ特別ノ罪トシテヤハリ罰スルノデアリマスガ、ヤハリ之ニ提供スルモノモ罰スルト云フ精神デ修正シテ差支アリマセヌカ

○内務省參事官(窪田靜太郎君) 此賄賂ヲ提供シタモノヲ罰スルト云フモノヲ罰シヤウト云フコトハ、刑法ノ一般ノ目的ニナリマス、ソレデ特別法デ之ヲ一々格段ノ規定ヲ設ケテヤルコトハ、實際如何カト考ヘマス、デ詰リ受ケタモノヲ罰スルト共ニ、提供シタモノヲモ罰スル必要ガアルカナイカト申シマスレバ、ツレハ此法律ニ限ラヌ一般賄賂ニ關シテノ問題デアリマスガ、此法律デハ此方ヘハ着手シナカッタ、之ハ一般刑法ノ問題トシテ刑法ニ讓ッテ置キマシタ、ソレヲ若シ賄賂ヲヤツテ何ニシタト云フコトガ、何ニカ知ラヌ事實ノ關係ニ依ッテ詐偽ノ所爲ニ當ルト云フナラバ、十六條ニ當リマスガ、併シ賄賂ヲ使タト云フコトヲ以テ、直ニ詐偽ノ所爲ト云フモノニハナルマイト思フノデアリマス

○(丸山嵯峨一郎君) サウスルト無論或場合ノコトヲ申シタノデアリマスガ、詰リ罰スルノ必要ハ今急ニ認メテ居ラヌト云フノデアリマスガ

○内務省參事官(窪田靜太郎君) 其問題ニハ此法律デハ觸レナイ、一般刑法ノ問題デアリマスガ、特別法デ其點ニ觸レテ規定ヲ設ケルト云フコトハ必要ト思ハヌカラ、外カノ法律デモ同ジコトデアリマスガ、ツレハ一般刑法ニ讓ッテ置クガ至當ト云フ考デアリマス

○(秋保親兼君) 此第九條ノ第二項ニ「私宅監置室公私立精神病院及公私立病院ノ精神病室ノ構造設備及管理方法ニ關スル規定ハ命令ヲ以テ之ヲ定ム」トアリマスガ、之ハサウスルト是迄アル精神病院ノ病室等ハ改築シナケレバナラヌノデアリマスガ

○内務省參事官(窪田靜太郎君) 左様ナコトハアルマイト思ヒマス、ドウモツレハ完全ノコトヲ希望シマスレバキリハアリマセヌガ、今ノ程度デ出來得ル限りハ許スヨリ仕方ガアリマセヌト思ヒマス、併シ一體ノ精神病院ト云フモノガアリマセヌ、ソレデ大低先ヅ一體ノ病院ニ比較シテモ、サウ非常ナ大改良シナケレバナラヌト云フヤウナコトハアルマイカト思ッテ居リマス

○委員長(齋藤壽雄君) モウ質問ハ宜シウゴザイマスガ——ソレデハ今日ハ御人モ少ナウゴザイマスガ、是デ散會致シマス

午後一時五十三分散會

明治三十三年三月五日印刷

明治三十三年三月五日發行

衆議院事務局

印刷者 印刷局